

ラウンドB 評価票

大学チーム名： _____

(相手方チーム名： _____)

審査員名： _____

各項目とも5段階で評価する。評価は絶対評価とし、対戦相手との相対評価ではない。したがって、ある評価項目について対戦両チームとも5評価ということもあり得る。

絶対評価についてはつぎの目安による。(2.5点満点の項目については半分にする。)

1 評価：物足りない点が目立つ

2 評価：やや問題あり。実務経験がないという点を考慮しても、やや物足りない。

3 評価：標準。大学生に要求される水準にてらし、標準的水準である。可もなく不可もなし。

4 評価：よい。物足りなさが残るが、学生としてはかなり優れたパフォーマンスであった。

5 評価：非常によい。実務で要求される水準に照らしても、相当のパフォーマンスが見られた。

1. 論理性・柔軟性 (10点満点)

(1)主張は説得力があったか。(説得力：論理性、明晰性)

1	2	3	4	5
└──────────┘				

(2)相手方の主張、交渉状況の変化に応じて柔軟に対応していたか

1	2	3	4	5
└──────────┘				

以上の点数合計 = _____(1)

2. 相手との意思疎通（10点満点）

(1)相手方の主張、事情を正確に聞いて理解したか。自分達たちが伝えるべきであると考えたことが正確に相手に伝えられていたか。効果的な問いかけができていたか、円滑な意思疎通のための工夫を行っていたか。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

(2) 態度、話し方、姿勢、振る舞い、（意図せず感情に走ることはなかったか、個人攻撃はなかったか、発言は明瞭であったか、相手方に対する目線、態度など。）

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

以上の点数合計 = _____(2)

3. 合意（和解）（5点満点）

(1)和解案の可能性を導くような情報をききだそうとしていたか。

0.5	1	1.5	2	2.5
-----	---	-----	---	-----

(2)和解が成立したか（和解が成立しなければ一律に1.5をつける。和解がwin winの案にいたれば、双方2.5とする。和解に至ったが、内容が良くない場合は1.5より下の点数とする。逆に有利な和解案を勝ち取った場合はその分1.5に点数を加算する。）

0.5	1	1.5	2	2.5
-----	---	-----	---	-----

以上の点数合計点： _____(3)

4. チームワーク (5点満点)

チーム全員がうまく役割を分担し、機能していたか、発言者が自己の役割を認識した交渉が行われていたか、言語明瞭性、姿勢、目線、態度

1	2	3	4	5

以上の点数合計 = _____(4)

5. 事前準備は十分だったか (10点満点)

(1)問題文の事実関係、資料等の内容を理解していたか。

1	2	3	4	5

(2)戦略など、交渉の組立や主張内容について十分準備していたか。

1	2	3	4	5

以上の点数合計 = _____(5)

6. 自己評価と総合評価 (10点)

(1)自己評価は冷静に自己のチームの良かった点、足りなかった点を的確に評価しているか。

1	2	3	4	5

(2)ラウンドB全体を通じて、交渉の技術のすべてを評価するとどうなるか。

1	2	3	4	5

以上の点数の合計 = _____(6)

総合得点(1) + (2) + (3) + (4) + (5) + (6) = _____ (50点満点)